

2023（令和5）年の大阪経済

—大阪経済は、力強さを欠くものの持ち直した—

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、2023（令和5）年の年間の経済動向を『2023（令和5）年のおおさか経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

2023年の大阪経済は、力強さを欠くものの持ち直しの動きが続いた。アフターコロナの中で経済社会活動が活発化することにより、需要面では、消費は年間を通じて持ち直しの動きが続き、設備投資は前年並みの水準で推移した。他方、外需は減少し、生産は持ち直しが続いていたが、年後半に減速した。雇用は、就業者数の増加や完全失業率の改善など持ち直しの動きで推移した。企業の業況は、緩やかな持ち直しが続いたが、業況改善の傾向は、製造業よりも非製造業の方が顕著であった。

【目次】

要約

第1章 大阪経済は、力強さを欠くものの持ち直した

1. 実質経済は、弱い動きながら持ち直し基調が続いた
2. 大阪府の景気は持ち直したが、秋以降は一服
3. 需要は一部に弱い動きがみられるが、緩やかに持ち直して推移
4. 生産は、年後半に減速
5. 雇用は持ち直しの動きで推移
6. 企業業況は改善が続くが非製造業でより顕著

第2章 2023年の経済動向

第1節 需要は一部に弱さがあるものの緩やかに持ち直して推移

1. 個人消費は緩やかに持ち直して推移
2. 住宅投資はやや弱い動きとなった
3. 民間設備投資は持ち直し
4. 輸出入額は、ともに3年ぶりのマイナス
5. 観光需要は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、回復が鮮明に

第2節 産業活動は、持ち直し

1. 生産活動は、2年ぶりに上昇
2. 有効求人倍率は下降基調
3. 消費者物価は上昇、国内企業物価は大幅に上昇もプラス幅は徐々に縮小
4. 大阪の企業倒産は件数、負債金額とも大幅増加

第3章 2023年の企業動向

第1節 企業の業況は横ばい基調が失速

1. 企業の業況は、前半の勢いが後半に失速
2. 営業利益は漸増傾向で推移、資金繰りは上昇の勢いが増す
3. 雇用不足感は高水準も、雇用予定人員は緩やかな改善基調

第2節 中小企業の業況は、弱含みながら回復基調で推移

1. 出荷・売上高及び営業利益は、弱含みながら回復基調で推移
2. 業況は年後半に下降傾向で推移し、原材料価格や仕入単価の上昇が課題

主要経済指標